

安佐南区まちづくりアクションプラン（案）

（令和2年度〔2020年度〕～令和6年度〔2024年度〕）



令和2年（2020年）〇月

広島市安佐南区

《目 次》

1	はじめに	
(1)	安佐南区まちづくりアクションプラン策定の趣旨	1
(2)	計画期間	1
(3)	アクションプランの位置付け	1
(4)	アクションプランの推進に当たって	1
2	安佐南区の現状と課題	
(1)	現状	2
(2)	課題	6
3	安佐南区のまちづくりの方向性	7
4	各まちづくりの方向性に基づく取組内容	
	○まちづくりの方向性1	
	地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり	8
	○まちづくりの方向性2	
	みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり	10
	○まちづくりの方向性3	
	自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり	14
	○まちづくりの方向性4	
	地域と大学がつながり、活力あふれるまちづくり	16
5	資料編	
(1)	安佐南区まちづくり懇談会 委員名簿	18
(2)	安佐南区まちづくり懇談会 開催状況	18

《安佐南区のシンボルマークについて》



ペン先は、文化と教育を育てる区民を、また両手を高くあげ手と手をつないでいる人の姿は、区民の融和と協調を象徴しています。

円は、永遠の平和と幸福を、全体の形は王冠を意味し、安佐南区の永遠の発展を表したものです。

1 はじめに

(1) 安佐南区まちづくりアクションプラン策定の趣旨

安佐南区では、区役所が住民に身近な行政窓口の役割を担うとともに、区まちづくり支援センターを中心に、地域の特色を生かしながら、住民のみなさんの思いをより反映したまちづくりを進めることにより、住みやすさ・暮らしやすさを実感できるまちの実現を目指しています。

そこで、住民と区役所等が共に安佐南区の「まちづくりの方向性」を共有しながら、これまで以上に協働してまちづくりに取り組んでいくため、学識経験者や地域団体、NPO法人、事業者等で構成した「安佐南区まちづくり懇談会（以下「懇談会」という。）」を設置し、住民を主体としたまちづくり活動の具体的な取組内容等について意見をお聴きしてきました。

「安佐南区まちづくりアクションプラン」（以下「アクションプラン」という。）は、懇談会での意見を踏まえ、今後、安佐南区において住民と区役所等が協働して取り組むまちづくりの具体的な計画として策定したものです。

(2) 計画期間

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間とします。

なお、各取組の進捗状況については、随時、検証を行います。

(3) アクションプランの位置付け

アクションプランは、広島市基本構想（以下「基本構想」という。）及び第6次広島市基本計画（以下「基本計画」という。）に基づき、中期の実施計画として策定したものです。

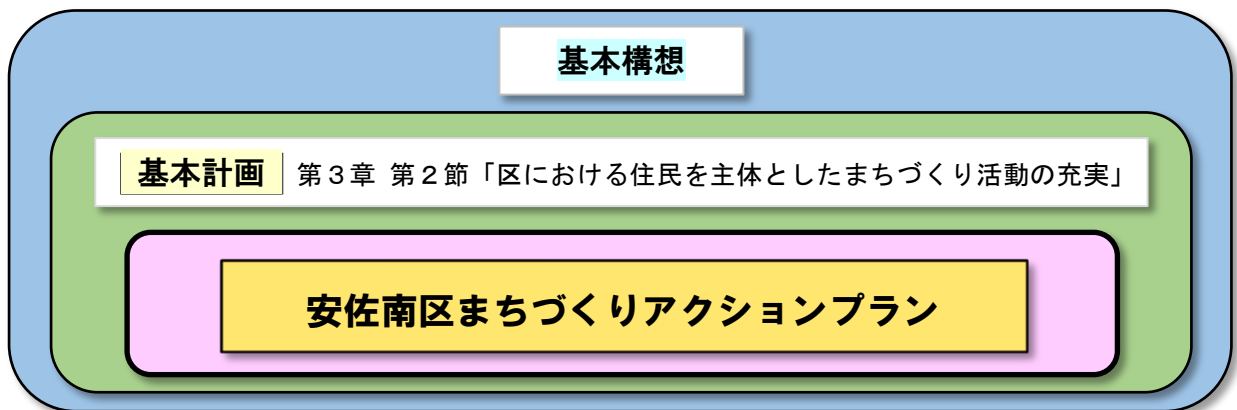


図1 安佐南区まちづくりアクションプランの位置付けのイメージ

(4) アクションプランの推進に当たって

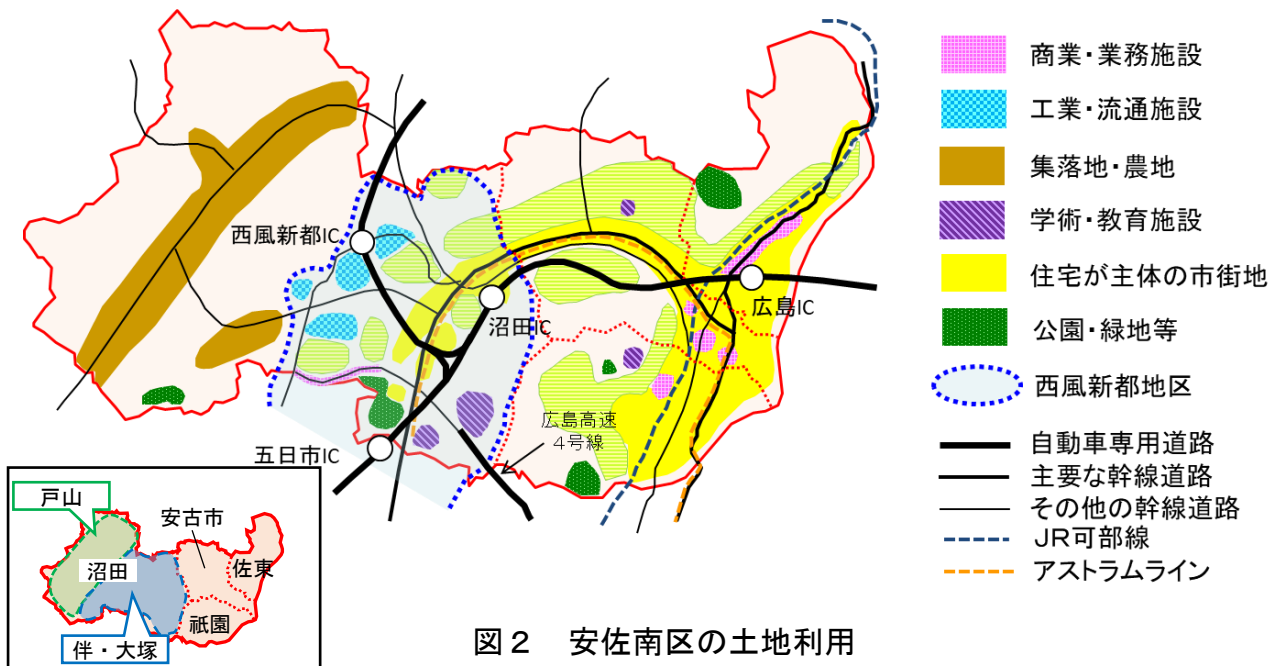
アクションプランを推進していくためには、行政だけでなく、住民や地域団体、企業、NPOといった地域全体で取り組む必要があります。このため、様々な主体との連携を図りながら、効率的にまちづくりを推進します。

2 安佐南区の現状と課題

(1) 現状

(ア) 地勢

- ① 広島市域のほぼ中央部に位置しており、面積は117.03 k m²で、広島市で3番目に広い区です。
- ② 主な山としては、武田山、火山（ひやま）、窓ヶ山等が所在します。山林面積は、区の面積の約43%を占めており、豊かな自然環境を有しています。
- ③ 土地利用については、以下の特徴があります（図2参照）。
 - ・ 佐東地区、安古市地区、祇園地区には市街地が広がっており、丘陵地には戸建住宅を中心とする住宅団地が造成され、市中心部に通勤・通学する人たちのベッドタウンとなっています。
 - ・ 商業・業務施設は、主に山陽自動車道の広島インターチェンジ周辺に集中し、工業・流通施設は、都市拠点として現在も整備が進められている西風新都地区に集中しています。
 - ・ 集落地、農地は沼田地区に分布しており、その多くは戸山地区に分布しています。



(イ) 人口

- ① 人口は244,125人、世帯数は105,087世帯（いずれも令和元年（2019年）6月末時点）で、いずれも8区の中で最多となっています。
- ② 人口増加が続いており、特に沼田地区（伴・大塚地区）の増加率が高い傾向にあります。

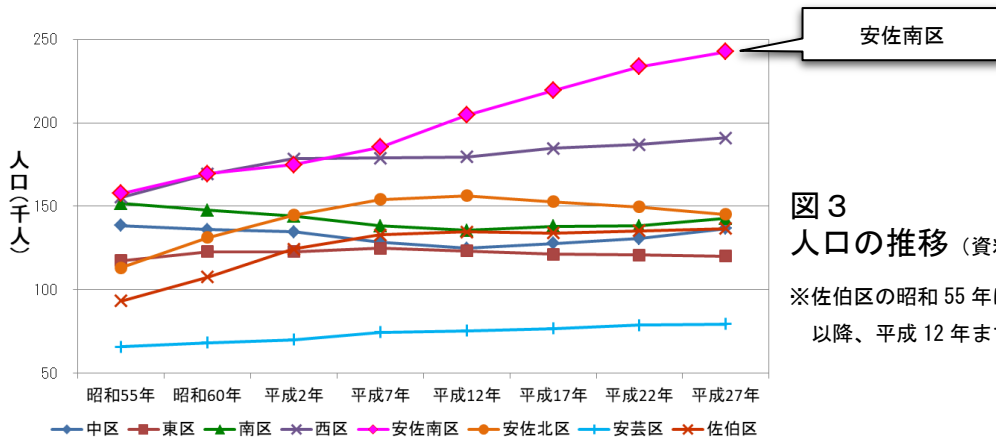


図3 人口の推移 (資料：国勢調査※)

※佐伯区の昭和55年は、旧五日市町と旧湯来町の合計値。以降、平成12年まで旧湯来町を含む合計値。

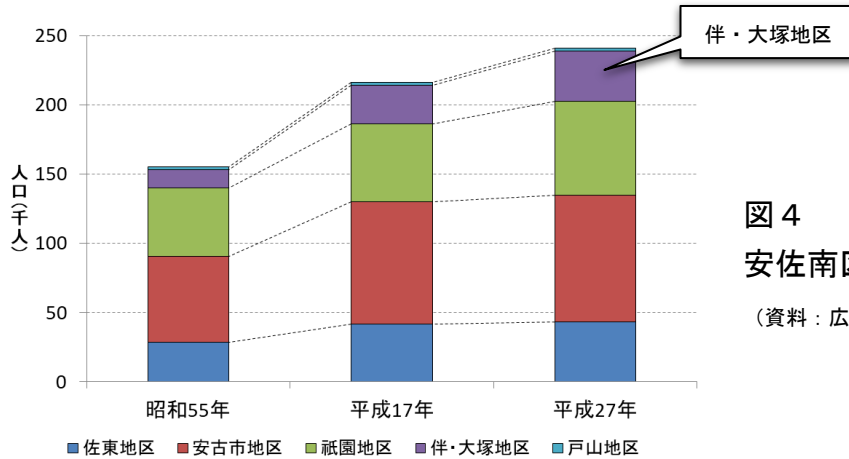


図4 安佐南区内の地区別人口の推移

(資料：広島市統計資料)

③ 将来推計によると、令和12年(2030年)以降は総人口が減少に転じる一方で、65歳以上人口の割合は、令和27年(2045年)には29.5%となる見込みです。

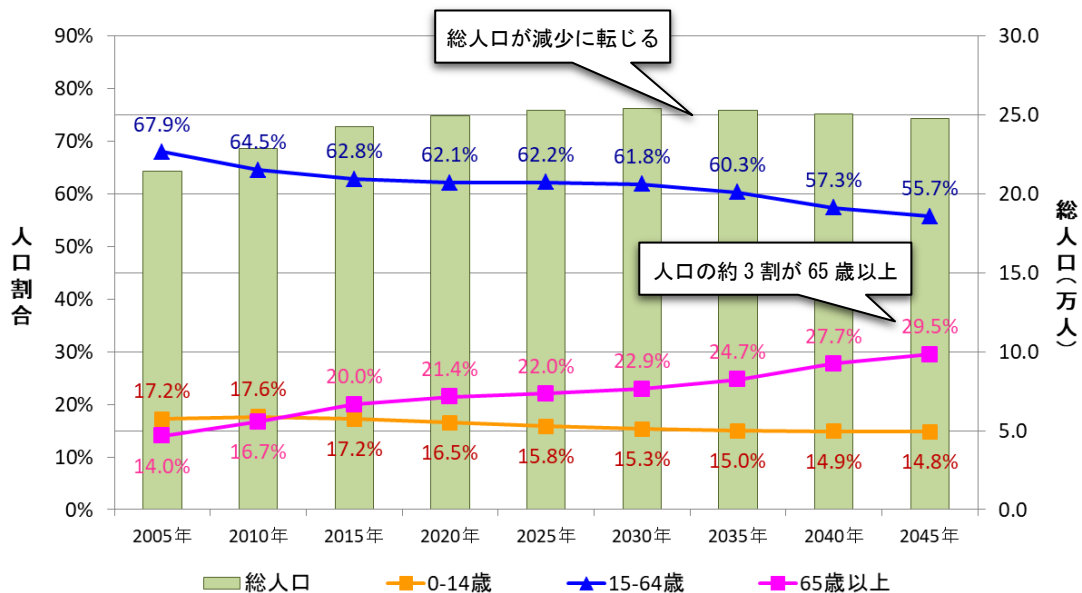


図5 安佐南区の年齢階級別割合の推移及び将来推計

(注) 平成27年度(2015年)以前は国勢調査、令和2年(2020年)以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」より作成

(ウ) 地域特性

① 安佐南区内とその周辺には四つのインターチェンジがあり、広域的なアクセス性に優れていることに加え、国道54号、国道183号、広島高速4号線等の道路により都心部と結ばれています。また、軌道系の公共交通機関（JR可部線、アストラムライン）により都心方面と結ばれており、交通の利便性が高い区であるといえます。

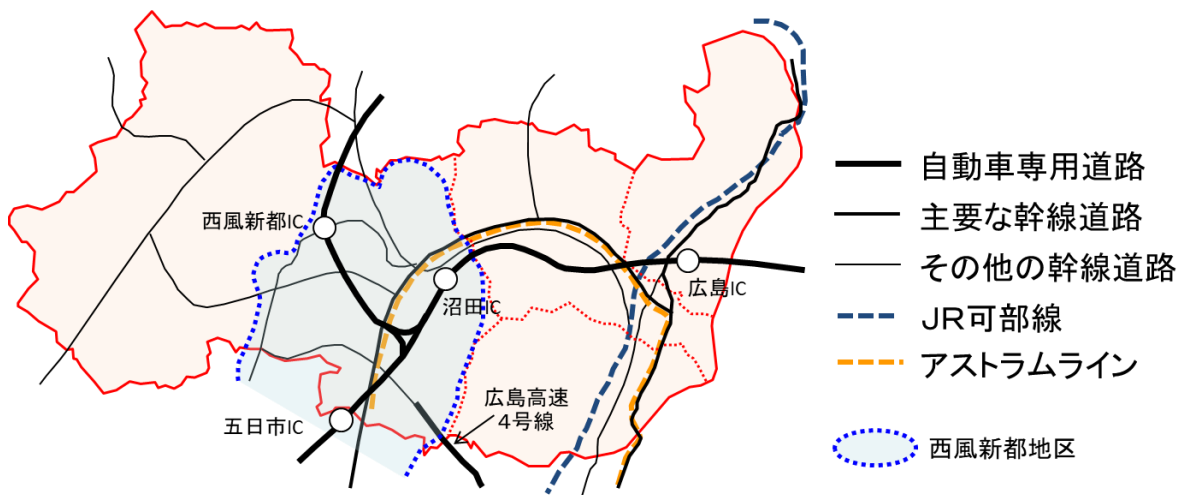


図6 安佐南区の交通

② 安佐南区内の農家数は465戸で、広島市全体の27.8%を占めています。区内地区別の農家数を見ると、沼田地区（戸山地区）が118戸と最も多く、次いで佐東地区の113戸、沼田地区（伴・大塚地区）の109戸の順で農家数が多くなっています。

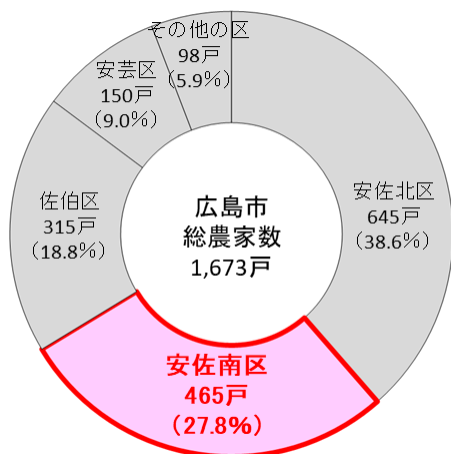


図7 広島市の農家数の内訳

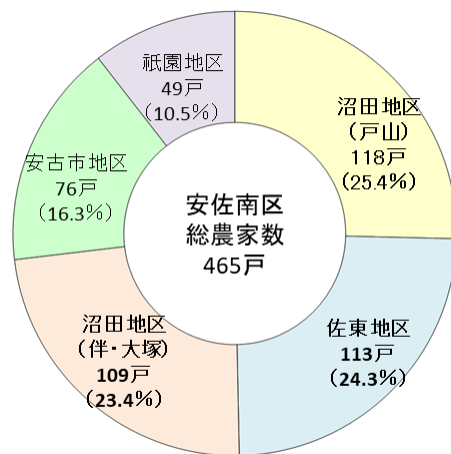


図8 安佐南区の農家数の内訳

(資料：2015年農林業センサス)

- ③ 区内に大学・短期大学が多く（6大学・2短期大学）所在しており、文教地区としての一面を有しています。

表1 安佐南区内の大学・短期大学

大学名		所在地
大 学	広島市立大学	安佐南区大塚東三丁目
	広島経済大学	安佐南区祇園五丁目
	広島修道大学	安佐南区大塚東一丁目
	広島都市学園大学（西風新都キャンパス）	安佐南区大塚東三丁目
	広島文化学園大学	安佐南区長東西三丁目
	安田女子大学	安佐南区安東六丁目
短期大学	広島文化学園短期大学	安佐南区長東西三丁目
	安田女子短期大学	安佐南区安東六丁目

(エ) コミュニティ

町内会・自治会への加入率は年々低下しており、令和元年（2019年）時点では50.6%で、広島市全体の平均の57.0%を下回り、8区の中で下から2番目の低さとなっています。

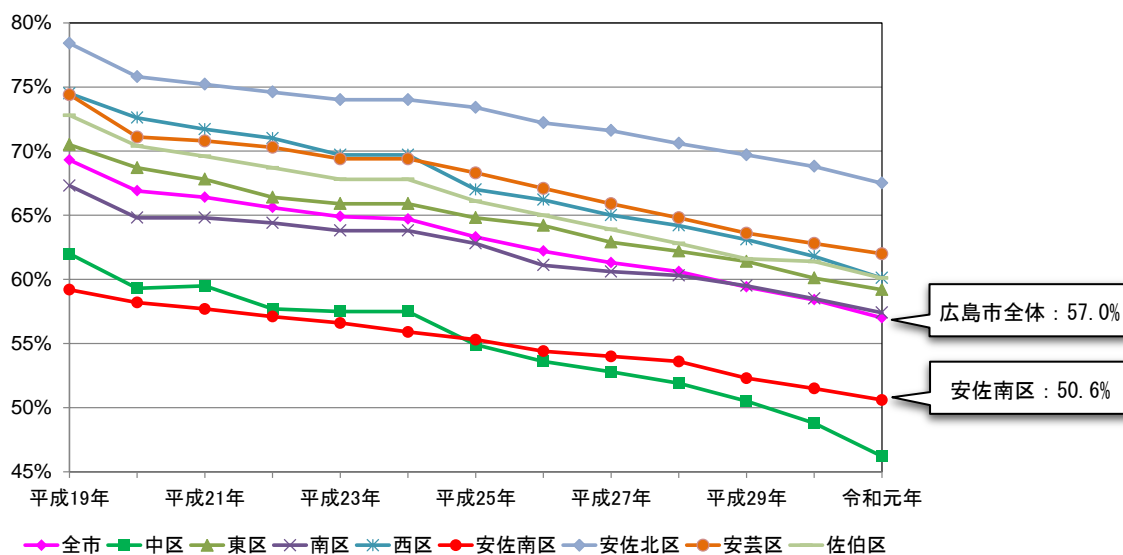


図9 町内会・自治会への加入率

(資料：市民活動推進課、各年の7月1日現在の住民基本台帳世帯数に対する町内会・自治会加入世帯数の割合)

(2) 課題

- ▽ 8区で最も多くの人に住む安佐南区においては、住民が地域への愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいとなるようなまちづくりを進めることが、今後より一層重要となります。このため、これまで以上に地域の魅力と活力を高め、様々な人が訪れたいとなるまちづくりを進める必要があります。
- ▽ 少子化・高齢化の進展、マンション居住世帯の増加、ライフスタイルの多様化などにより、安佐南区では、町内会・自治会への加入率低下を始めとして、地域活動の担い手の不足、地域の助け合いの意識の低下など、地域におけるコミュニティ意識の希薄化が深刻化しており、地域コミュニティの再形成に取り組む必要があります。
- ▽ 近年、集中豪雨や台風等に伴う自然災害により大きな被害が発生していますが、安佐南区では、平成26年（2014年）8月の広島豪雨災害により丘陵地に造成された住宅地が被災した一方で、同じように丘陵地を造成した住宅地が多く所在することから、今後も同様の土砂災害の発生リスクが懸念されます。また、南海トラフ地震等の巨大地震の発生リスクも高まっていることから、災害に強いまちづくりを進める必要があります。

さらに、災害だけでなく、犯罪や事故が起りにくく、住民が安全に暮らせるまちづくりを進める必要があります。
- ▽ 男女共に平均寿命が延びている中で、単に寿命が延びるだけでなく、生涯を通じて有意義に過ごすためにも、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間である「健康寿命」を延ばすことが重要ですが、高齢者数が8区で最多の安佐南区では、その重要性はより高いものとなっており、健康に暮らせるまちづくりを進める必要があります。
- ▽ 安佐南区唯一の中山間地域である戸山地区では、高齢化や人口減少、空き家の増加などが進展しており、戸山地区が持つ魅力の向上や対外的な魅力のPR等を通じた定住促進等の取組により、地区の活性化を図る必要があります。
- ▽ 大学・短期大学が多く立地するという安佐南区の特徴を踏まえ、大学等の多彩な人材や知識を活用したまちづくりを進める必要があります。

3 安佐南区のまちづくりの方向性

安佐南区では、地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを目指し、懇談会での意見を踏まえ、今後のまちづくりについて、次の四つの方向性により進めていくこととします。

まちづくりの方向性	
1	<p>地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり</p> <p>歴史・文化などの地域資源を活用し、住宅団地を始めとしたそれぞれの地域への愛着と誇りを育むとともに、住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）が協働し、魅力にあふれ、様々な人が訪れるまちづくりを進めます。</p> 
2	<p>みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり</p> <p>住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）がそれぞれの立場を担い、協働して地域の福祉や住民の健康づくりを推進するとともに、平成 26 年(2014 年)8 月の豪雨災害などの教訓を踏まえた防災力、犯罪を未然に防ぐ防犯力を高め、誰もが安全・安心・健康に暮らせるまちづくりを進めます。</p> 
3	<p>自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり</p> <p>里山や川などの身近な自然を保全・活用し、農林業の振興や中山間地の活性化、住民が自然と触れることのできる環境づくりに取り組み、自然と共に豊かに暮らし、自然を通じて人々が交流するまちづくりを進めます。</p> 
4	<p>地域と大学がつながり、活力あふれるまちづくり</p> <p>大学と地域の交流・連携を促進し、大学の知的資源を活用した学びの機会の創出や、大学生のパワーやアイデアを生かした協働の取組により、地域課題の解決を図るとともに、文化的で活力にあふれるまちづくりを進めます。</p> 

4 各まちづくりの方向性に基づく取組内容

まちづくりの方向性1

地域愛を育み、みんなで魅力を生み出すまちづくり

歴史・文化などの地域資源を活用し、住宅団地を始めとしたそれぞれの地域への愛着と誇りを育むとともに、住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）が協働し、魅力にあふれ、様々な人が訪れるまちづくりを進めます。

(1) 安佐南区の魅力向上の促進

区役所等を魅力的な「まちの顔」に仕立て、住民が地域への愛着と誇りが持てるまちづくりを推進します。

また、地域の行事や季節の便りなど、「まちの情報」として身近な安佐南区の魅力を発信し、地域活動への住民の関心の醸成を図ります。

■ 住民に親しまれる区役所づくり

- ◇ 広島文化学園大学芸術学部音楽学科との連携による「小さな音楽会」の実施
- ◇ 広島市立大学芸術学部が制作した芸術作品の常設展示
- ◇ 花いっぱい運動推進委員会による花壇づくり

■ ふるさと魅力化再生事業の推進

- ◇ 住民や地域団体などの協力による公共施設での花壇づくり

■ サンプルチェ応援プロジェクトの推進

- ◇ サンプルチェ選手等による一日区長の実施
- ◇ ホームゲームに合わせた区民応援デーの実施
- ◇ サンプルチェスタッフの指導による親子サッカー教室の実施

■ 住民（マイタウンレポーター）等による安佐南区の魅力の発信

- ◇ 区役所公式フェイスブックを活用した、住民に身近なまちの魅力の情報発信

(2) 安佐南区の地域資源の活用

(ア) ふるさと安佐南再発見事業

区内の自然、歴史、文化を継承するとともに、それらを活用した新たな魅力づくりと情報発信により、区外からも人が訪れるまちづくりを推進します。

■ 区内の自然、歴史、文化の探訪・学習の支援

- ◇ 「あさみなみ散策マップ」の改訂と公共施設への配布

■ 安佐南区の魅力発見イベントの実施

- ◇ 武田山登山会など歴史に触れることのできるイベントの実施
- ◇ 各地区の地域資源を活用したイベントの実施

(イ) 地域資源となる公共施設等を活用した魅力づくり

広島広域公園やアストラムライン等の安佐南区を代表する公共施設等を安佐南区の地域資源として活用した魅力づくりを推進します。

- エディオンスタジアム広島を始めとする広島広域公園を活用した魅力づくり
 - ◇ 安佐南区民交流駅伝大会の開催
 - ◇ サンフレッチェ広島の本拠地移転に伴うエディオンスタジアム広島の活性化に向けた取組の具体化 新規
- アストラムライン各駅を拠点とする地域の魅力づくり
 - ◇ 散策マップの作成とガイドツアーの実施 新規
- 沼田合同庁舎（通称：火山（ひやま）館）を活用した魅力づくり
 - ◇ 1階スペースを活用した地域の交流の場づくりへの支援 新規



安佐南区役所“小さな音楽会”



区役所公式フェイスブックを活用した情報発信



公共施設での花壇づくり



芸術作品の常設展示

みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり

住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）がそれぞれの立場を担い、協働して地域の福祉や住民の健康づくりを推進するとともに、平成26年(2014年)8月の豪雨災害などの教訓を踏まえた防災力、犯罪を未然に防ぐ防犯力を高め、誰もが安全・安心・健康に暮らせるまちづくりを進めます。

(1) コミュニティ活性化の促進

(ア) 公共施設の有効活用

公園などの公共的空間において、住民が行う花壇づくりを支援することによって、良好な環境をつくとともに、花を通じた住民のコミュニティ活動の活性化を図ります。

また、地域団体が公園などの公共施設を有効活用し、にぎわいづくりや活動財源の確保を図る「小さなエリアマネジメント」を展開し、持続的かつ住民主体のまちづくりを促進します。

■ 安佐南区花いっぱい運動の推進

- ◇ 新規に花壇を開設する住民への初期支援
- ◇ 公民館での花づくり講習会の実施

■ 小さなエリアマネジメントの展開

- ◇ 地域団体による公園でのバザーの開催などの営利活動を可能とする規制緩和を通じた地域団体の収益性の向上やにぎわいづくりの促進 新規

(イ) 町内会・自治会への加入促進

役員の高齢化に伴う活動の縮小など、様々な課題を抱える町内会・自治会について、加入促進につながる取組を行い、コミュニティの活性化を図ります。

■ 加入促進チラシ等の作成・配布

- ◇ 加入勧誘を行う町内会・自治会長への加入促進チラシの配布
- ◇ 住居番号設定通知書送付時における加入促進チラシの同封

■ マンションを対象とした加入促進の実施

- ◇ マンション新築情報の当該地域への提供
- ◇ 賃貸住宅の仲介業者への加入促進チラシ配布の協力依頼

■ 「安佐南さわやか あいさつ運動」の実施

- ◇ さわやかあいさつ運動推進大会の開催
- ◇ 「あいさつキャラバン隊」による早朝あいさつの実施

■ 新任町内会長等への支援

- ◇ 新任町内会長等を対象とした情報交換・交流会の実施

(ウ) 交流機会の創出

住民が参加しやすい多様な交流機会を創出し、健康増進とコミュニティ活動への

積極的な参加を促すとともに、地域、個人の「交流力」を高め、「地域力」の向上を図ります。

- 安佐南区全体を対象とするイベントの開催
 - ◇ 安佐南区民交流駅伝大会の開催（再掲）
 - ◇ 安佐南区民まつりの開催
 - ◇ 安佐南区民スポーツ大会の開催
- 各地域での多様な交流イベントの創出 新規
 - ◇ 公園や空きスペースを活用したラジオ体操会等の地域交流イベントの実施
 - ◇ 大型ショッピングセンターを活用したウォーキングイベントの実施

(2) 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進

(ア) 地域ぐるみの子育てに向けた取組

安佐南区は広島市内で子どもの数が最も多い区であることから、子育て世代が地域とつながりを持ち、地域の中で子育てができるよう、幅広い世代が子育てを支援していく環境づくりを推進します。

- 地域における子育て環境の充実
 - ◇ 大学生を対象とした「安佐南区子育てサポーター」養成講座の実施
 - ◇ 中高年齢層を対象とした「イクジイ・イクバア養成講座」の実施
 - ◇ 転入1年目以内の子育て世帯（主に乳幼児を養育する家族）を対象とした交流会の実施 新規
 - ◇ 地元の大学生と子育て世代との交流・連携機会の創出 新規
- 子どもがのびのびと思いきり遊べる場の創出
 - ◇ 冒険遊び場（プレーパーク）づくりの実施

(イ) 災害に強いまちづくりの推進

継続的な地域の防災力の向上及び住民の防災・減災意識の高揚を図ることにより、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進します。

また、災害時に自力で避難することが困難な高齢者、障害者等が、安全に避難することができるよう地域で支援（共助）する体制を整備します。

さらに、各学区内の自主防災組織について、組織体制や取組内容、防災意識等にばらつきがあることから、自主防災組織の早急な整備、強化を図ります。

- 防災まちづくり事業の推進
 - ◇ 地域防災リーダーカレッジの実施
 - ◇ 安佐南区内の公共施設連携事業の実施
 - ◇ 公民館との連携による防災・減災講習会の実施
 - ◇ 土砂災害の記憶・経験の伝承や防災教育の実施等を目的とした、復興交流拠点施設の運営支援（梅林地区） 新規
- 避難行動要支援者避難支援事業の推進
 - ◇ 避難行動要支援者名簿を基にした支援方法の検討

- ◇ 防災意識啓発用DVDの作成と活用 新規
- ◇ 映像による地域の災害時対応マニュアルの作成と活用 新規
- 自主防災組織の整備、強化
 - ◇ 自主防災組織への若年層の加入促進策の検討・実施 新規
 - ◇ 自主防災組織の重要性のPR手法の検討・実施 新規

(ウ) 安全なまちづくりの推進

安佐南防犯組合連合会、安佐南警察署等と連携・協力し、住民参加の下、住民の防犯意識の高揚を図るとともに、住民総ぐるみで犯罪の減少に取り組みます。

また、安全で安心な安佐南区の交通社会を実現するため、住民の交通安全意識を醸成し、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーの実践により、交通事故の防止を図ります。

- 「減らそう犯罪」推進事業の推進
 - ◇ 「減らそう犯罪」安佐南区民大会の開催
 - ◇ 防犯講習会の実施
 - ◇ 自転車盗難防止キャンペーンの実施
 - ◇ 企業による子どもの見守り活動の実施 新規
- 交通安全運動の実施
 - ◇ 自転車交通マナーアップキャンペーンの実施

(3) 健康に暮らせるまちづくりの推進

地域コミュニティ機能の充実を図るとともに「健康のまちづくり」を推進し、健康寿命の延伸による医療費の削減を目指します。

また、医科、歯科診療所、病院、保健薬局等の医療機関を、健康に関する啓発、情報発信などの健康づくりの拠点として活用し、安全・安心・健康のネットワークづくりを進めます。

- 健康のまちづくりの推進
 - ◇ 高齢者向け健康遊具の活用促進活動の拡充 新規
 - ◇ 大学との連携による日常生活の健康格差の検証プロジェクトの実施 新規
- 健康づくりの拠点化の推進
 - ◇ 医療機関による健康に関する啓発や情報提供の推進 新規
 - ◇ 医療機関利用者からの相談窓口となる機能の付加 新規
 - ◇ 医療従事者による健康づくりに関する講演会等の実施 新規



安佐南区民交流駅伝



冒険遊び場（プレーパーク）づくり



新任町内会長・自治会長研修会



地域防災リーダーカレッジ



「減らそう犯罪」安佐南区民大会



自転車交通マナーアップキャンペーン

まちづくりの方向性3

自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり

里山や川などの身近な自然を保全・活用し、農林業の振興や中山間地の活性化、住民が自然と触れることのできる環境づくりに取り組み、自然と共に豊かに暮らし、自然を通じて人々が交流するまちづくりを進めます。

(1) 戸山地区のまちづくりの推進

安佐南区唯一の中山間地域であり、豊かな自然など戸山地区の環境・人材等を活かした持続可能なまちづくりを推進します。

また、戸山地区内外の人々が交流する拠点の整備を進めます。

■ 戸山地区の魅力PRの推進

- ◇ マツダスタジアム等でのわがまち魅力発信隊「戸山デー」の実施
- ◇ 戸山里山婚活イベントの実施 **新規**
- ◇ お出かけマップ「ぐるりん戸山」の改定と配布

■ 戸山地区への定住の促進

- ◇ 空き家・空き地バンクの運営支援
- ◇ 移住希望者を対象とした体験ツアーの実施 **新規**

■ 交流拠点施設の整備

- ◇ 地域交流拠点の整備・運営（戸山集会所1階の改修） **新規**
- ◇ コミュニティ広場の整備・運営 **新規**

(2) 農林業を通じた交流の促進

安佐南区内の農林業の持続的な振興を図ることで、自然環境の保全につなげるとともに、農林業を通じて人々が交流するまちづくりを推進します。

また、農業の重要性や、生産者の苦労、食べ物の大切さを学び、子どもたちの豊かな心を育むことを目的とした取組を推進します。

■ 農林業を通じた体験・交流機会の提供

- ◇ ボランティアによる海外援助米生産の実施
- ◇ 休耕田の農地で農作物の栽培を体験する「ふれあい農業教室」の実施
- ◇ 農作物の栽培から食までの農村文化を体験する「中王楽農塾」の実施
- ◇ 区内の森林を維持管理するとともに、林業体験や環境学習の場として活用することを目的とした、企業やボランティア等による「森いきいき戸山林業体験教室」「権現山憩の森整備事業」「ふれあい樹林事業」の実施

■ 農業を通じて子どもたちの豊かな心を育む機会の創出

- ◇ 米や野菜づくりを体験する食育体験ツアーの実施 **新規**



わがまち魅力発信隊「戸山デー」



お出かけマップ「ぐるりん戸山」



ボランティアによる海外援助米事業



ふれあい農業教室



森いきいき戸山林業体験教室



中王楽農塾

まちづくりの方向性4

地域と大学がつながり、活力あふれるまちづくり

大学と地域の交流・連携を促進し、大学の知的資源を活用した学びの機会の創出や、大学生のパワーやアイデアを生かした協働の取組により、地域課題の解決を図るとともに、文化的で活力にあふれるまちづくりを進めます。

(1) 大学と地域の交流・連携の促進

コミュニティ活動の担い手が高齢化し、まちづくりを推進する若いマンパワーを必要とする地域と、「地域に開かれた大学」を理念に掲げ、地域活動を実践する場を求める大学を結び付け、地域のまちづくり活動の活性化を図ります。

また、区内の大学等の研究者や専門家など地域の人材を活用した、住民が気軽に参加できる生涯学習の場を提供し、住民が豊かに暮らせるまちづくりを考えるきっかけの場とします。

■ 大学と地域の交流・連携に向けた支援

- ◇ 地域と大学生のまちづくり活動&報告会の実施
- ◇ 大学と地域の連携のためのプラットフォーム（区内の大学・地域・企業・区役所の横断的組織）の構築 **新規**
- ◇ 地域活動等に係る連携協定（仮称）に基づく、大学と地域の連携促進支援事業のモデル実施 **新規**
- ◇ 地元大学生と子育て世代との交流・連携機会の創出 **新規**（再掲）
- ◇ ボランティアスタッフによる「あさみなみ区民大学」の運営

(2) 地学地就の促進

大学と企業の相互交流を促し、互いの「顔が見える関係」を深めていくことにより、地域で学んだ学生が地域で就職する「地学地就」を促進します。

■ 大学と企業の交流・連携に向けた支援

- ◇ 学生と企業の相互交流機会の拡大と連携促進を図る「学生サポーター企業登録制度」の発足 **新規**
- ◇ 学生と地元企業との情報交換等を目的としたワークショップの実施 **新規**

■ 「地就」に向けた支援

- ◇ 地元企業によるインターンシップ（就業体験）受入れの促進 **新規**
- ◇ 安佐南区内の大学に在籍する学生を対象とした西風新都地区内の企業への就職支援 **新規**



地域と大学生のまちづくり活動&報告会



あさみなみ区民大学

5 資料編

(1) 安佐南区まちづくり懇談会 委員名簿（順不同、敬称略）

座長	松井 一洋	広島経済大学経済学部 教授
副座長	寺尾 一秀	安佐南区社会福祉協議会 会長
	阿佐 巖	安佐南区民生委員児童委員協議会 会長
	川口 隆司	認定NPO法人コミュニティーリーダーひゅーるぽん 理事長
	高田 義典	安佐南区商工会連絡協議会 会長
	宅見 伸夫	安佐南区身体障害者福祉協会連合会 会長
	竹内 功	広島高速交通株式会社 代表取締役社長
	谷口 正行	安佐南区青少年健全育成連絡協議会 会長
	内藤 正芳	学区体育団体安佐南区連合会 会長
	林 裕	毘沙門台学区社会福祉協議会 専務理事
	檜山 秀夫	広島市農業協同組合 代表理事専務
	藤井 豊	ひろしま西風新都クラブ 会長
	村田 裕彦	安佐南区地域保健対策協議会 会長
	森崎 智美	NPO法人 e子育てセンター 代表理事
	渡部 和子	安佐南区女性団体連合会 会長
前委員	蓼 正成	前 安佐南区商工会連絡協議会 会長

(2) 安佐南区まちづくり懇談会 開催状況

	開催日	議 事
第1回	平成31年(2019年) 2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市総合計画審議会の審議状況の報告 ・安佐南区まちづくり懇談会の概要の説明 ・安佐南区の現況と課題の説明 ・講演「安佐南区のまちづくりについて」
第2回	令和元年(2019年) 5月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのまちづくりについて ・これからのまちづくり活動について ・住民主体の取組事例について ・まちづくりの方向性(案)について
第3回	令和元年(2019年) 9月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・安佐南区の魅力と活力を高める取組を推進するためのアクションプラン(案)について
第4回	令和元年(2019年) 12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・安佐南区まちづくりアクションプラン(案)について